

議会モニターとの意見交換について

1年の締め括りとして、議会モニターと意見交換会を実施、主な内容は、

- 定例会ごとの傍聴者数を議会だよりで報告を。
- 町の防災訓練は避難訓練等だけでなく、命の大切さの啓発も。
- ぽい捨て条例が制定された。自宅周りは住民みずから啓発も必要。
- 千年の苑ラベンダーの植栽が進むが課題がありそつだ。心配している。

広報広聴常任委員会

議会だより170号発行について

毎回だが多くの時間を要し完成した。表紙は元気はつら

● 今年度末で任期満了となり、新たにモニター10名を委嘱することができた。

● 他、様々なご意見を戴き、充実した時間となった。

● 事前質問を「ソフト選定理由」、「導入前の経費削減予想と削減結果」、「アプリの活用制限」とし、説明を受けた。

● 特にペーパーレス、レンタルトライアル説明は貴重な研修成果となり、帰庁後の視察感想には経費の削減、職員、議

● 登校写真を掲載、初校では2グループに分かれての間違い確認の読み合わせと修正は全員で進めた他、案件処理は全員合意になるまで調整。再校で終了にならない箇所は正副委員長の再々校まで及んだ。

ICT(タブレット)導入について

常任委員会に移行してから執行より示された「タブレットの費用対効果」を検討してきたが、以前より研究中の「サイドブック社」と同様に他自治体で採用している「モアノート社」を研究することになる。中でも富士見市議会では採用して間もないが、近隣でもあり視察研修となった。



● 員の労働時間が挙げられ、事務局での労賃削減試案の数値化、導入トライアルの実施、自己電子機器の先行導入及び使用基準等の必要性にもおおよんだ。

第13回議会報告会について

基本的には前回を踏襲し、預かり保育で1歳から6歳までを新たに事前予約で実施する他、パワーポイント資料、運営マニュアルは委員会一任とし、リハーサルは全議員の流れ確認のみとする(開催状況は本誌2〜3ページを参照願います)。

以上、報告いたします。



富士見市議会タブレット導入の視察＝H30.5.15

議員定数等検討特別委員会

3月12日の委員会について

①5月27日に予定している町民との意見交換会について、ファシリテーターを依頼することとし、早稲田大学マニフェスト研究所の中村事務局長に要請する。町民への周知の方法について協議、広報風山に全戸配布で折込みチラシを入れる。他に公共施設等へのポスターの掲示、議会だよりに掲載することを検討した。

②町民アンケート実施調査について、4月23日から5月25日まで、町民18歳以上1,000名を無作為で抽出し、郵送返信封筒回収で実施する事を確認、アンケート内容について協議した。

4月3日・23日の委員会について

①実施される町民アンケートの集計について協議した。ま

た5月27日開催の町民との意見交換会について、当日の議員役割分担を確認、会場配布資料は議員が定数・報酬についてどのように捉え考えているか、議員自身へのアンケート結果と要点をまとめたものを配布することとした。

②特別委員会公聴会開催と公述人の募集について協議した。開催日を8月19日(日)午前9時30分より、役場町民ホールとし、公述人は約15名、申込み方法は案件に対する賛否を記入の上、7月10日までに議会事務局に申し込むとした。

議員定数等町民との意見交換会の開催について

5月27日午後、役場町民ホールで開催され、31名が参加した。意見交換を進めるため、早稲田大学マニフェスト研究所の中村事務局長による進行で「議会とは何か、議員の仕事とは何か」が説明され

意見交換に入り、定数・報酬についても町民の見方は3つある。「増やした方がよい。現状のまま。減らした方がよい」があり、参加者から多くの意見が聞き出された。



早稲田大学マニフェスト研究所の中村事務局長をファシリテーターに起用し開催された町民意見交換会＝H30.5.27

